

日興グラビティ・グローバル・ファンド ＜愛称 GG10+10＞

追加型投信／内外／株式

交付運用報告書

第3期（決算日2016年7月12日）

作成対象期間（2015年7月14日～2016年7月12日）

第3期末（2016年7月12日）	
基準価額	10,394円
純資産総額	5,126百万円
第3期	
騰落率	△20.7%
分配金（税込み）合計	0円

(注) 騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

＜運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法＞

右記URLにアクセス ⇒ ファンド検索機能を利用して該当ファンドのページを表示 ⇒ 運用報告書タブを選択 ⇒ 該当する運用報告書をクリックしてPDFファイルを表示

○運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「日興グラビティ・グローバル・ファンド」は、2016年7月12日に第3期の決算を行ないました。

当ファンドは、主として、世界各国の金融商品取引所に上場されている株式、株価指数先物取引にかかる権利および上場投資信託証券などに実質的な投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なってまいりました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号

<http://www.nikkoam.com/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

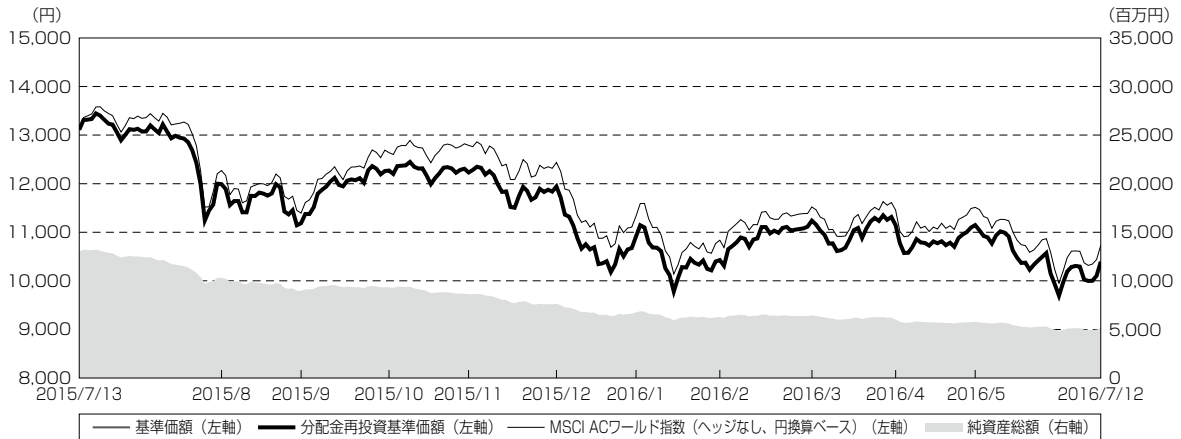
コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2015年7月14日～2016年7月12日)



期 首：13,111円
 期 末：10,394円 (既払分配金 (税込み)：0円)
 騰 落 率：△20.7% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額およびMSCI ACワールド指数 (ヘッジなし、円換算ベース) は、期首 (2015年7月13日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) MSCI ACワールド指数 (ヘッジなし、円換算ベース) は当ファンドの参考指数です。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、世界各国の金融商品取引所に上場されている株式、株価指数先物取引にかかる権利および上場投資信託証券などに実質的な投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・米国連邦準備制度理事会 (FRB) による追加利上げ観測の後退などを受けて、米国やペルーなどの株価が上昇したこと。
- ・中央銀行による金融緩和策の進展などが支援材料となり、ハンガリーの株価が堅調に推移したこと。
- ・期間の後半における原油価格の上昇などを受けて、ロシアの株価が上昇したこと。

<値下がり要因>

- ・英国の欧州連合 (EU) 離脱懸念を背景に欧州経済の先行き不透明感が強まったことなどから、ドイツ、スイス、スウェーデンなどの株価が下落したこと。
- ・中国の景気減速懸念の強まりや人民元安の進行などから、中国の株価が下落したこと。
- ・円高/アメリカドル安の進行を受けた輸出企業の業績悪化懸念などから、日本の株価が下落したこと。
- ・投資対象国通貨が、円に対して総じて下落したこと。

1万口当たりの費用明細

(2015年7月14日～2016年7月12日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬	円 181	% 1.572	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投信会社)	(87)	(0.754)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(87)	(0.754)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
(受託会社)	(7)	(0.065)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	25	0.218	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
(株式)	(6)	(0.048)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(投資信託証券)	(3)	(0.022)	
(先物・オプション)	(17)	(0.148)	
(c) 有価証券取引税	1	0.009	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
(株式)	(1)	(0.009)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	11	0.100	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(8)	(0.069)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(1)	(0.005)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印刷費用)	(3)	(0.023)	印刷費用は、法定開示資料の印刷に係る費用
(その他)	(0)	(0.002)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	218	1.899	
期中の平均基準価額は、11,483円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2011年7月12日～2016年7月12日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) MSCI ACワールド指数(ヘッジなし、円換算ベース)は、設定時の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 当ファンドの設定日は2013年7月31日です。

	2013年7月31日 設定日	2014年7月14日 決算日	2015年7月13日 決算日	2016年7月12日 決算日
基準価額 (円)	10,000	11,599	13,111	10,394
期間分配金合計(税込み) (円)	—	100	100	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	17.0	13.9	△20.7
MSCI ACワールド指数(ヘッジなし、円換算ベース)騰落率 (%)	—	20.7	22.0	△18.1
純資産総額 (百万円)	72,129	44,255	13,023	5,126

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2014年7月14日の騰落率は設定当初との比較です。
- (注) MSCI ACワールド指数(ヘッジなし、円換算ベース)は当ファンドの参考指数です。
参考指数は投資対象資産の相場を説明する代表的な指数として記載しているものです。

投資環境

(2015年7月14日～2016年7月12日)

(株式市況)

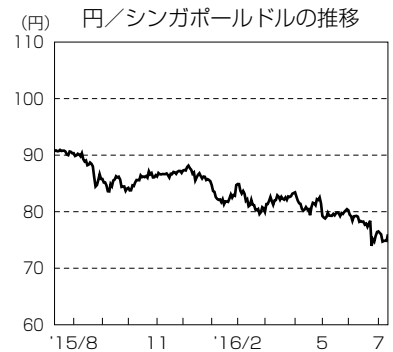
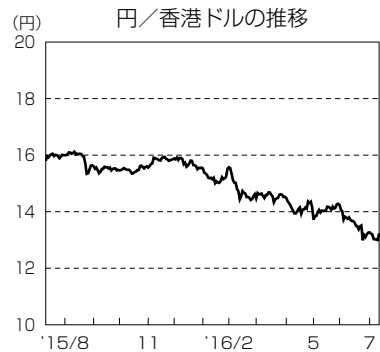
米州（南・北アメリカ）における投資対象国の株式市場では、期間の初めと比較して株価は概して上昇しました。米国の株価は、米国や中国の市場予想を下回る内容の経済指標の発表を受けて世界経済の成長鈍化懸念が強まった局面などに一時下落したものの、原油価格が上昇に転じたことや、FRBによる追加利上げ観測が後退したことなどが支援材料となり上昇しました。カナダの株価は、主要な貿易相手国である中国の景気減速懸念などが影響し、下落しました。メキシコ、ペルー、チリなどの株価は、米国の追加利上げ観測の後退などが好感され上昇しました。

欧州における投資対象国の株式市場では、期間の初めと比較して株価は概して下落しました。ドイツの株価は、期間の初めから2016年2月上旬にかけては、中国の景気減速を示唆する経済指標の相つぐ発表を背景とした世界経済の減速懸念や、ドイツの自動車メーカーによる排ガス規制に対する不正の発覚、原油価格の下落、欧州の銀行の健全性に対する懸念などから、下落しました。2月中旬以降は、原油価格の上昇や、米国の追加利上げ観測の後退などの株価上昇要因に対して、英国のEU離脱懸念を受けた世界経済の先行き不透明感などが株価の下落要因となり、ドイツの株価は一進一退となりました。スイス、スウェーデンの株価は、世界経済の先行き不透明感の強まりなどを背景に、期間の初めと比較して下落しました。ハンガリーの株価は、中央銀行による金融緩和策などが支援材料となり、期間の初めと比較して上昇しました。ロシアの株価は、期間の後半において主要な輸出品目である原油の価格が上昇したことなどをを受けて、期間の初めと比較して上昇しました。

アジア・オセアニアにおける投資対象国の株式市場では、期間の初めと比較して株価は概して下落しました。中国の株価は、市場予想を下回る内容の経済指標の発表を受けた中国景気の減速懸念の強まりや、人民元安の進行などを背景に、期間の初めと比較して下落しました。日本の株価は、国内景気の減速懸念の強まりや、円高／アメリカドル安の進行を受けた輸出企業の業績悪化懸念などから、期間の初めと比較して下落しました。フィリピンの株価は、現政権の経済政策の継承を掲げる大統領候補者の当選を受けて高成長の継続に期待が高まったことなどから、期間の初めと比較して上昇しました。

(為替市況)

期間中における主要通貨（対円）は、下記の推移となりました。



当ファンドのポートフォリオ

(2015年7月14日～2016年7月12日)

(当ファンド)

当ファンドは、「グローバル株式マザーファンド」受益証券を高位に組み入れて運用を行ないました。

(グローバル株式マザーファンド)

世界経済のけん引役として、さらなる経済発展が見込まれる20カ国に対して、「グラビティ理論」を活用した国別配分比率に基づき、分散投資を行ないました。

2015年11月には、経済成長の基礎となる主要ファクターを広範に捉えた評価ツールである「アドバンス・マトリクス」に基づき投資対象国の定期見直しを実施し、フィンランド、コロンビア、タイを除外し、新たにデンマーク、フィリピン、ロシアを組み入れました。同時に、国別配分比率の定期見直しも行ない、「グラビティ理論」を活用して決定した国別配分比率に定性評価を加味した結果に基づいてポートフォリオの修正を実施しました。具体的には、日本や中国などについて買い増しを行なう一方で、スイスやシンガポールなどの一部売却を実施しました。

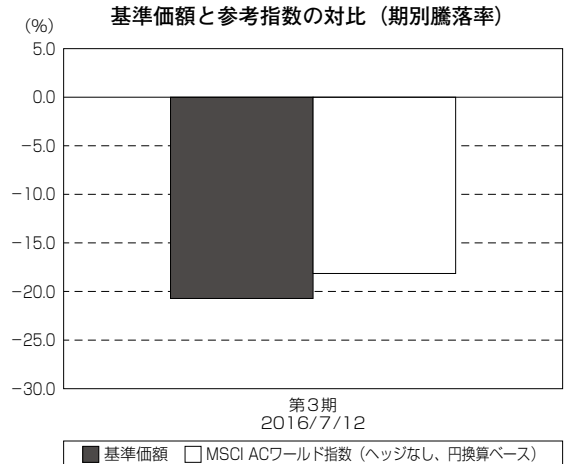
また、2016年5月には、国別配分比率の定期見直しを行ない、スイスや中国などについて買い増しを行なう一方で、米国やカナダなどの一部売却を実施しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2015年7月14日～2016年7月12日)

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

グラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金(税込み)込みです。

(注) MSCI ACワールド指数(ヘッジなし、円換算ベース)は当ファンドの参考指数です。

分配金

(2015年7月14日～2016年7月12日)

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下の通りといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第3期
	2015年7月14日～ 2016年7月12日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	3,046

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針**(当ファンド)**

引き続き、ファンドの基本方針に則り、「グローバル株式マザーファンド」受益証券を原則として高位に組み入れて運用を行ないます。

(グローバル株式マザーファンド)

引き続き、世界経済のけん引役として、さらなる経済発展が見込まれる20カ国に対して、「グラビティ理論」を活用した国別配分比率に基づき、分散投資を行なう方針です。原則として年2回、ポートフォリオの見直しなどを行ない、投資対象国や国別投資比率の変更を検討します。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

お知らせ

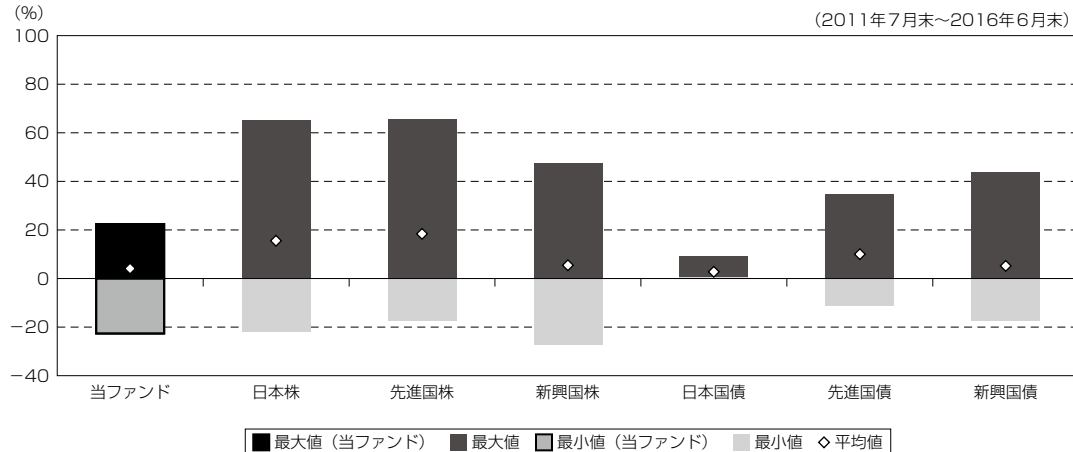
2015年7月14日から2016年7月12日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2013年7月31日から2023年7月12日までです。	
運用方針	主として、「グローバル株式マザーファンド」受益証券に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	日興グラビティ・グローバル・ファンド	「グローバル株式マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	グローバル株式マザーファンド	世界各国の金融商品取引所上場株式（DR（預託証券）を含みます。）、株価指数先物取引に係る権利および上場投資信託証券等を主要投資対象とします。
運用方法	主として、世界各国の金融商品取引所に上場されている株式、株価指数先物取引にかかる権利および上場投資信託証券などに実質的な投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざします。原則として、先進国10カ国、新興国10カ国の計20カ国を投資対象国とし、各国株式市場の動きを捉えることをめざします。国別配分比率の決定や銘柄選定は、市場動向や成長性、収益性、流動性などを勘案して行ないます。原則として、為替ヘッジは行ないません。	
分配方針	毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	22.4	65.0	65.7	47.4	9.3	34.9	43.7
最小値	△22.6	△22.0	△17.5	△27.4	0.4	△11.2	△17.4
平均値	4.1	15.5	18.4	5.4	2.7	10.0	5.2

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2011年7月から2016年6月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドは2014年7月以降の年間騰落率を用いております。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX、配当込)

先進国株：MSCI-KOKUSAIインデックス (配当込、円ベース)

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円ヘッジなし、円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドの参考指数について

●MSCI ACワールド指数 (ヘッジなし、円換算ベース)

「MSCI ACワールド指数」は、「MSCI Inc.」が発表している、先進国と新興国の株式の合成パフォーマンスを表す指数です。同指数の (ヘッジなし、円換算ベース) とは、米ドル建ての指数をヘッジを行わずに円換算したものです。

指数について

●東証株価指数 (TOPIX、配当込) は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、東京証券取引所に帰属します。●MSCI-KOKUSAIインデックス (配当込、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。●MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。●NOMURA-BPI国債は、野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる日興アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。●シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、Citigroup Index LLCが開発した、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、Citigroup Index LLCに帰属します。●JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円ヘッジなし、円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2016年7月12日現在)

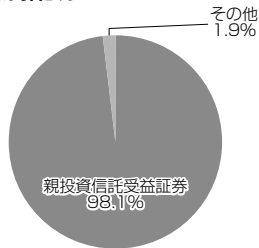
○組入上位ファンド

銘柄名	第3期末
	%
グローバル株式マザーファンド	98.1
組入銘柄数	1銘柄

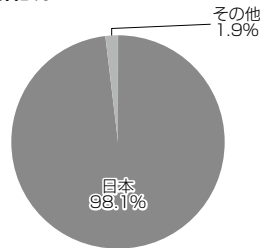
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

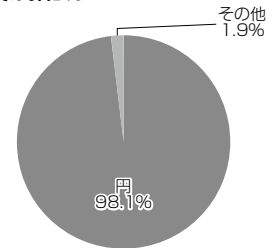
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

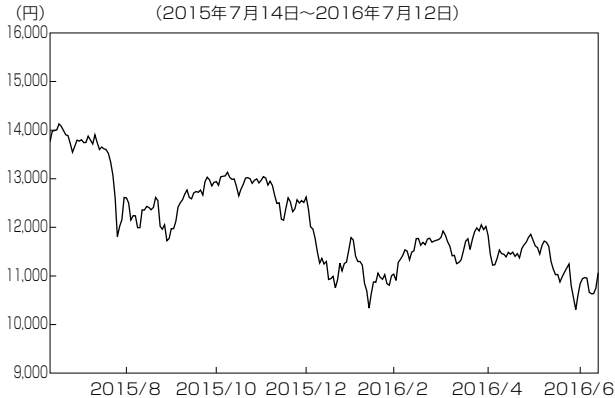
項目	第3期末
	2016年7月12日
純資産総額	5,126,700,892円
受益権総口数	4,932,269,019口
1万口当たり基準価額	10,394円

(注) 期中における追加設定元本額は128,918,533円、同解約元本額は5,129,665,723円です。

組入上位ファンドの概要

グローバル株式マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2015年7月14日～2016年7月12日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
	円	%
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式) (投 資 信 託 証 券) (先 物 ・ オ プ シ ョ ン)	27 (6) (3) (18)	0.220 (0.048) (0.023) (0.149)
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式) (投 資 信 託 証 券)	1 (1) (0)	0.009 (0.009) (0.000)
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	9 (8) (0)	0.072 (0.070) (0.002)
合 計	37	0.301
期中の平均基準価額は、12,137円です。		

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

(2016年7月12日現在)

銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1 SP EMINI	株式先物(買建)	アメリカドル	アメリカ	24.1%
2 SPTSX 60	株式先物(買建)	カナダドル	カナダ	10.1
3 日経225mini	株式先物(買建)	円	日本	9.5
4 第99回利付国債(5年)	国債証券	円	日本	8.8
5 SWISSMKT	株式先物(買建)	スイスフラン	スイス	8.2
6 ISHARES CORE DAX UCITS ETF DE-ETF	投資信託受益証券	ユーロ	ドイツ	6.7
7 HSHRSIDX	株式先物(買建)	香港ドル	香港	6.5
8 OMXS30	株式先物(買建)	スウェーデンクローナ	スウェーデン	4.7
9 ISHARES MSCI SOUTH KOREA CAP-ETF	投資信託受益証券	アメリカドル	韓国	2.6
10 WIGM20DX	株式先物(買建)	ポーランドズロチ	ポーランド	2.4
組入銘柄数	82銘柄			

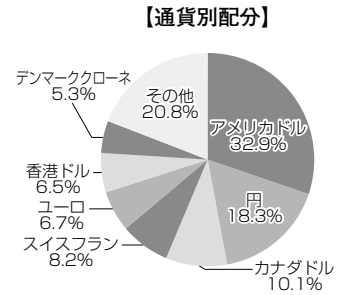
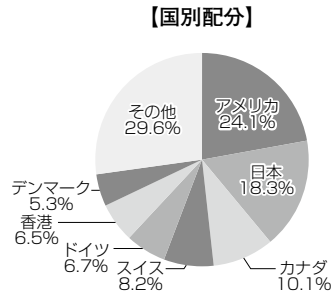
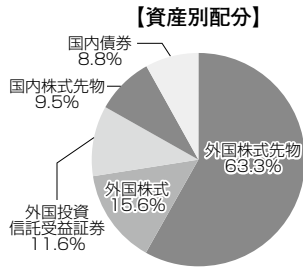
(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

【先渡取引残高】

種類	当期末取引契約残高
直物為替先渡取引	百万円 71



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書（全体版）をご参照ください。